

1節 指数関数

① 整数の指数

$a$  を  $n$  個掛け合わせたものを  $a^n$  と書き、 $a$  の  $n$  乗とよぶ。また、 $n$  を  $a^n$  の指数といい、 $a$ ,  $a^2$ ,  $a^3$ , ... を  $a$  の累乗という。

$$\underbrace{a \times a \times \cdots \times a}_{n \text{ 個}} = a^n$$

指数 ↓

**指数法則**

指数  $n$  が 0 または負の整数であるとき、累乗  $a^n$  をどのように定めればよいか考えてみよう。

たとえば、累乗  $2^n$  の指数  $n$  が正の整数のとき、指数  $n$  が 1 増えるごとに  $2^n$  の値は 2 倍になる。

このことを逆に見ると、指数  $n$  が 1 減るごとに  $2^n$  の値は  $\frac{1}{2}$  倍になる。

よって、指数が 0 や負の整数のときにもこの規則が成り立つように、 $2^0$ ,  $2^{-1}$ ,  $2^{-2}$ ,  $2^{-3}$ , ... を次のように定めればよいことがわかる。

$$\begin{array}{ccccccccccc} & \times \frac{1}{2} & \times \frac{1}{2} & \times \frac{1}{2} & \times \frac{1}{2} & \times \frac{1}{2} & \times \frac{1}{2} & \times \frac{1}{2} & & & \\ & \swarrow & \swarrow & \swarrow & \swarrow & \swarrow & \swarrow & \swarrow & & & \\ \cdots & 2^{-3} & 2^{-2} & 2^{-1} & 2^0 & 2^1 & 2^2 & 2^3 & 2^4 & \cdots & \\ & \parallel & \parallel & \parallel & \parallel & \parallel & \parallel & \parallel & \parallel & \parallel & \\ & \frac{1}{2^3} & \frac{1}{2^2} & \frac{1}{2^1} & 1 & 2 & \times 2 & 4 & \times 2 & 8 & \times 2 & 16 \end{array}$$

一般に、指数が 0 または負の整数のときの累乗を、次のように定める。

**$a^0$ ,  $a^{-n}$  の定義**

$a \neq 0$  で、 $n$  が正の整数のとき

$$a^0 = 1, \quad a^{-n} = \frac{1}{a^n}$$

**例 1** (1)  $3^0 = 1$                       (2)  $2^{-4} = \frac{1}{2^4} = \frac{1}{16}$

**問 1** 次の値を求めよ。

- (1)  $3^{-2}$                       (2)  $5^0$                       (3)  $6^{-2}$                       (4)  $(-4)^{-3}$

一般に、 $m, n$  が正の整数のとき、次の指数法則が成り立つ。

$$(1) a^m a^n = a^{m+n} \quad (2) (a^m)^n = a^{mn} \quad (3) (ab)^n = a^n b^n$$

指数が 0 または負の整数であるときの累乗を、前ページのように定めると、 $m, n$  がどのような整数であっても、次の**指数法則**が成り立つ。

指数法則	
$a \neq 0, b \neq 0$ で、 $m, n$ が整数のとき	
(1) $a^m a^n = a^{m+n}$	(1') $a^m \div a^n = a^{m-n}$
(2) $(a^m)^n = a^{mn}$	
(3) $(ab)^n = a^n b^n$	(3') $\left(\frac{a}{b}\right)^n = \frac{a^n}{b^n}$

$m = 5, n = -3$  のとき、上の指数法則(1), (2), (3)が成り立つことを確かめてみよう。

$$(1) a^5 \times a^{-3} = a^5 \times \frac{1}{a^3} = a^2 = a^{5+(-3)}$$

$$(2) (a^5)^{-3} = \frac{1}{(a^5)^3} = \frac{1}{a^{5 \times 3}} = \frac{1}{a^{15}} = a^{-15} = a^{5 \times (-3)}$$

$$(3) (ab)^{-3} = \frac{1}{(ab)^3} = \frac{1}{a^3 b^3} = \frac{1}{a^3} \times \frac{1}{b^3} = a^{-3} b^{-3}$$

**問 2**  $m = 5, n = -3$  のとき、上の指数法則(1'), (3')が成り立つことを確かめよ。

**例 2** (1)  $a^{-5} \times a^3 = a^{(-5)+3} = a^{-2} = \frac{1}{a^2}$

(2)  $(a^{-3})^{-4} = a^{(-3) \times (-4)} = a^{12}$

(3)  $(a^2 b^{-1})^{-2} = (a^2)^{-2} \times (b^{-1})^{-2} = a^{-4} b^2 = \frac{b^2}{a^4}$

**問 3** 次の計算をせよ。

p.162 Training 1、 p.176 LevelUp 1、

(1)  $a^{-3} \times a^{-5}$                       (2)  $a^{-3} \div a^{-5}$                       (3)  $(a^2 b^{-3})^{-2}$

(4)  $a^3 \times a^{-5} \div a^{-4}$                       (5)  $(2a)^3 \div a^{-4} \times a^{-6}$

② 累乗根

体積が 8 の立方体の 1 辺の長さは 2 である。

すなわち  $x^3 = 8$

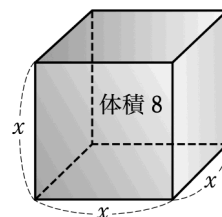
を満たす  $x$  の値は 2 である。

一般に、ある実数  $a$  に対して、3 乗して  $a$  になる数、すなわち

$$x^3 = a$$

を満たす  $x$  の値を、 $a$  の **3 乗根** という。たとえば、2 は 8 の 3 乗根である。

実数の範囲で考えれば、実数  $a$  の 3 乗根はただ 1 つしかない。これを  $\sqrt[3]{a}$  と表す。たとえば、 $\sqrt[3]{8} = 2$  である。



**例 3**  $(-2)^3 = -8$  であるから

$$\sqrt[3]{-8} = -2$$

**問 4** 次の値を求めよ。

- (1)  $\sqrt[3]{27}$       (2)  $\sqrt[3]{-27}$       (3)  $\sqrt[3]{64}$       (4)  $\sqrt[3]{-64}$

一般に、正の整数  $n$  に対して、 $n$  乗して実数  $a$  になる数、すなわち

$$x^n = a$$

を満たす  $x$  の値を、 $a$  の  **$n$  乗根** という。平方根は 2 乗根である。

2 乗根、3 乗根、4 乗根、…をまとめて**累乗根**という。

この章では、累乗根は実数の範囲で考えることにする。

**例 4** (1)  $5^3 = 125$  であるから

5 は 125 の 3 乗根である。

(2)  $2^4 = 16, (-2)^4 = 16$  であるから

2, -2 は 16 の 4 乗根である。

**問 5** 次の値を求めよ。

- (1) 81 の平方根      (2) 216 の 3 乗根      (3) 625 の 4 乗根

実数  $a$  の  $n$  乗根について、次のことがいえる。

(1)  $n$  が奇数のとき

$a$  の  $n$  乗根は  $a$  の正負に関係なくただ 1 つある。それを  $\sqrt[n]{a}$  と表す。

たとえば

$$32 \text{ の } 5 \text{ 乗根は } \sqrt[5]{32} = 2$$

$$-32 \text{ の } 5 \text{ 乗根は } \sqrt[5]{-32} = -2$$

$$0 \text{ の } 5 \text{ 乗根は } \sqrt[5]{0} = 0$$

(2)  $n$  が偶数のとき

(i)  $a > 0$  ならば、 $a$  の  $n$  乗根は正と負の 2 つある。正の方を  $\sqrt[n]{a}$ 、負の方を  $-\sqrt[n]{a}$  と表す。

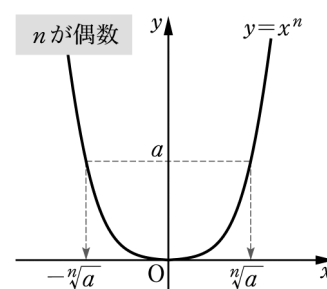
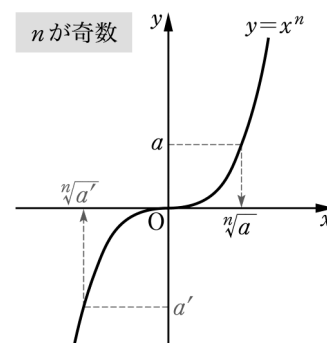
たとえば、16 の 4 乗根は

$$\sqrt[4]{16} = 2 \text{ と } -\sqrt[4]{16} = -2$$

(ii)  $a = 0$  ならば、 $a$  の  $n$  乗根は

$$\text{ただ 1 つであり } \sqrt[n]{0} = 0$$

(iii)  $a < 0$  ならば、 $a$  の  $n$  乗根は存在しない。



**注意**  $\sqrt[3]{a}$  はふつう  $\sqrt{a}$  と書く。

**例 5** (1)  $(-2)^7 = -128$  であるから

$$\sqrt[7]{-128} = -2$$

(2)  $\sqrt[4]{81}$  は 81 の 4 乗根  $\pm 3$  のうち、正の方であるから

$$\sqrt[4]{81} = 3$$

**問 6** 次の値を求めよ。

(1)  $\sqrt[4]{256}$

(2)  $\sqrt[5]{-243}$

(3)  $\sqrt[6]{64}$

**累乗根の性質**

累乗根の定義から、正の整数  $n$  について次のことが成り立つ。

$$a > 0 \text{ のとき } (\sqrt[n]{a})^n = a$$

また、累乗根について、次の性質が成り立つ。

**累乗根の性質**

$a > 0, b > 0$  で、 $m, n$  が正の整数のとき

- |   |   |
|---|---|
| (1) $\sqrt[n]{a}\sqrt[n]{b} = \sqrt[n]{ab}$ | (2) $\frac{\sqrt[n]{a}}{\sqrt[n]{b}} = \sqrt[n]{\frac{a}{b}}$ |
| (3) $(\sqrt[n]{a})^m = \sqrt[n]{a^m}$       | (4) $\sqrt[m]{\sqrt[n]{a}} = \sqrt[mn]{a}$                    |

(3)の証明

$$(\sqrt[n]{a})^m = x \text{ とおくと } x^n = \{(\sqrt[n]{a})^m\}^n = \{(\sqrt[n]{a})^n\}^m = a^m$$

$x > 0$  であるから、 $x$  は  $a^m$  の正の  $n$  乗根である。

よって  $x = \sqrt[n]{a^m}$

すなわち  $(\sqrt[n]{a})^m = \sqrt[n]{a^m}$

**問 7** 上の(3)の証明にならって、(4)を証明せよ。

**例 6** (1)  $\sqrt[3]{2} \times \sqrt[3]{3} = \sqrt[3]{2 \times 3} = \sqrt[3]{6}$      $\sqrt[m]{a} \sqrt[m]{b} = \sqrt[m]{ab}$

(2)  $\frac{\sqrt[4]{12}}{\sqrt[4]{2}} = \sqrt[4]{\frac{12}{2}} = \sqrt[4]{6}$      $\frac{\sqrt[m]{a}}{\sqrt[m]{b}} = \sqrt[m]{\frac{a}{b}}$

(3)  $(\sqrt[6]{9})^3 = \sqrt[6]{9^3} = \sqrt[6]{(3^2)^3}$      $(\sqrt[m]{a})^\Delta = \sqrt[m]{a^\Delta}$   
 $= \sqrt[6]{3^6} = 3$

(4)  $\sqrt{\sqrt[3]{4}} = \sqrt[2]{\sqrt[3]{4}} = \sqrt[6]{4}$      $\sqrt[m]{\sqrt[\Delta]{a}} = \sqrt[m \times \Delta]{a}$   
 $= \sqrt[3 \times 2]{4} = \sqrt[6]{4} = \sqrt[3]{2}$

**問 8** 次の計算をせよ。

- |                                      |                                     |                        |
|--------------------------------------|-------------------------------------|------------------------|
| (1) $\sqrt[3]{5} \times \sqrt[3]{7}$ | (2) $\sqrt[4]{18} \div \sqrt[4]{6}$ | (3) $(\sqrt[4]{25})^2$ |
| (4) $\sqrt[3]{27^2}$                 | (5) $\sqrt[5]{\sqrt[3]{32}}$        |                        |

③ 有理数の指数

$a > 0$  のとき、有理数  $r$  を指数とする累乗  $a^r$  をどのように定めればよいか考えてみよう。

151 ページで学んだように、 $m, n$  が整数のとき、指数法則(2)

$$(a^m)^n = a^{mn}$$

が成り立つ。たとえば、 $m = \frac{2}{3}, n = 3$  のときにもこの法則が成り立つとすると

$$\left(a^{\frac{2}{3}}\right)^3 = a^{\frac{2}{3} \times 3} = a^2$$

となる。この式は、 $a^{\frac{2}{3}}$  が  $a^2$  の 3 乗根であることを示しているから

$$a^{\frac{2}{3}} = \sqrt[3]{a^2}$$

と定めればよいことがわかる。

一般に、次のように定める。

有理数を指数とする累乗

$a > 0$  で、 $m$  が整数、 $n$  が正の整数のとき

$$a^{\frac{m}{n}} = \sqrt[n]{a^m}$$

とくに  $a^{\frac{1}{n}} = \sqrt[n]{a}, \quad a^{\frac{1}{2}} = \sqrt{a}$

例 7 (1)  $16^{\frac{1}{4}} = \sqrt[4]{16} = \sqrt[4]{2^4} = 2$

(2)  $8^{\frac{2}{3}} = \sqrt[3]{8^2} = \sqrt[3]{64} = \sqrt[3]{4^3} = 4$        $\longleftarrow a^{\frac{\triangle}{\square}} = \sqrt[\square]{a^{\triangle}}$

(3)  $8^{-\frac{2}{3}} = \sqrt[3]{8^{-2}} = \sqrt[3]{\frac{1}{64}} = \frac{1}{\sqrt[3]{64}} = \frac{1}{\sqrt[3]{4^3}} = \frac{1}{4}$

問 9 次の値を求めよ。

(1)  $25^{\frac{1}{2}}$       (2)  $16^{\frac{3}{4}}$       (3)  $9^{-\frac{1}{2}}$       (4)  $27^{-\frac{2}{3}}$

問 10 次の式を  $a^{\frac{m}{n}}$  の形で表せ。

(1)  $\sqrt[3]{a}$       (2)  $\sqrt{a^3}$       (3)  $(\sqrt[4]{a})^5$       (4)  $(\sqrt[4]{a})^{-3}$

有理数を指数とする累乗を前ページのように定めると、たとえば

$$a^{\frac{1}{2}} \times a^{\frac{2}{3}} = a^{\frac{3}{6}} \times a^{\frac{4}{6}} = \sqrt[6]{a^3} \times \sqrt[6]{a^4} = \sqrt[6]{a^{3+4}} = a^{\frac{3+4}{6}} = a^{\frac{1}{2} + \frac{2}{3}}$$

となる。このように、151 ページの指数法則は、指数を有理数にまで拡張しても成り立つ。

指数法則	
$a > 0, b > 0$ で、 $p, q$ が有理数のとき	
(1) $a^p a^q = a^{p+q}$	(1') $a^p \div a^q = a^{p-q}$
(2) $(a^p)^q = a^{pq}$	
(3) $(ab)^p = a^p b^p$	(3') $\left(\frac{a}{b}\right)^p = \frac{a^p}{b^p}$

**例 8** (1)  $2^{\frac{1}{2}} \times 2^{\frac{5}{2}} = 2^{\frac{1+5}{2}} = 2^3 = 8$

(2)  $\left(3^{\frac{2}{3}}\right)^{\frac{9}{2}} = 3^{\frac{2}{3} \times \frac{9}{2}} = 3^3 = 27$

**問 11** 次の計算をせよ。

(1)  $3^{\frac{5}{3}} \times 3^{\frac{1}{3}}$

(2)  $6^{\frac{1}{2}} \div 6^{\frac{3}{2}}$

(3)  $\left(4^{\frac{4}{3}}\right)^{\frac{3}{2}}$

**例 9** (1)  $\sqrt[6]{2^3} \times (\sqrt{2})^3 = 2^{\frac{3}{6}} \times 2^{\frac{3}{2}} = 2^{\frac{3}{6} + \frac{3}{2}} = 2^{\frac{1}{2} + \frac{3}{2}} = 2^2 = 4$

(2)  $\sqrt[8]{81^3} \div \sqrt[3]{27^2} = 81^{\frac{3}{8}} \div 27^{\frac{2}{3}} = (3^4)^{\frac{3}{8}} \div (3^3)^{\frac{2}{3}} = 3^{\frac{12}{8}} \div 3^2 = 3^{\frac{3}{2}} \div 3^2 = 3^{\frac{3}{2} - 2} = 3^{-\frac{1}{2}} = \frac{1}{\sqrt{3}}$

**問 12** 次の計算をせよ。

p.162 Training 4, p.176 LevelUp 2,3

(1)  $(\sqrt[5]{2})^2 \times \sqrt[5]{2^3}$

(2)  $\sqrt[3]{9} \div \sqrt[6]{81^4}$

指数  $p$  が無理数のときにも、正の数  $a$  に対して  $a^p$  を定めることができる。

たとえば、 $\sqrt{2} = 1.41421\dots$  に対して、有理数を指数とする 3 の累乗の列

$$3^1, 3^{1.4}, 3^{1.41}, 3^{1.414}, 3^{1.4142}, \dots$$

は、しだいに一定の値に近づいていくから、その値を  $3^{\sqrt{2}}$  と定める。

$$3^{\sqrt{2}} = 3^{1.41421\dots} = 4.72880\dots$$

累乗の指数を、このように実数にまで拡張しても、上の指数法則はそのまま成り立つ。

$3^1$	$= 3$
$3^{1.4}$	$= 4.65553672\dots$
$3^{1.41}$	$= 4.70696500\dots$
$3^{1.414}$	$= 4.72769503\dots$
$3^{1.4142}$	$= 4.72873393\dots$
	$\vdots$

④ 指数関数とそのグラフ

$a > 0, a \neq 1$  のとき

$$y = a^x$$

で表される関数を、 $a$  を底とする指数関数という。

**指数関数のグラフ**

2 を底とする指数関数  $y = 2^x$  のグラフについて考えてみよう。

たとえば、 $x$  が  $\frac{1}{2}, \frac{3}{2}, -\frac{1}{2}$  のときの  $2^x$  の値は、次のようになる。

$$2^{\frac{1}{2}} = \sqrt{2} \approx 1.41$$

$$2^{\frac{3}{2}} = 2^{1+\frac{1}{2}} = 2 \times 2^{\frac{1}{2}} = 2\sqrt{2} \approx 2.83$$

$$2^{-\frac{1}{2}} = \frac{1}{2^{\frac{1}{2}}} = \frac{1}{\sqrt{2}} = \frac{\sqrt{2}}{2} \approx 0.71$$

いろいろな  $x$  の値に対する  $2^x$  の値は、次の表のようになる。

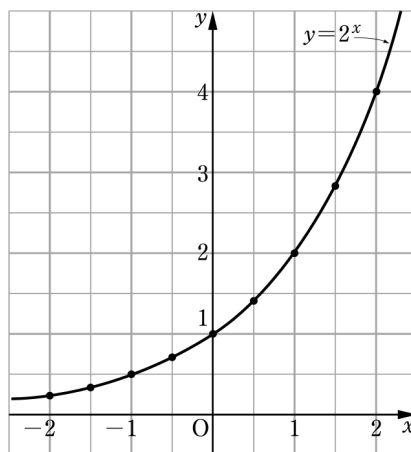
$x$	...	-2	$-\frac{3}{2}$	-1	$-\frac{1}{2}$	0	$\frac{1}{2}$	1	$\frac{3}{2}$	2	...
$y = 2^x$	...	0.25	0.35	0.5	0.71	1	1.41	2	2.83	4	...

上のように、 $x$  の値に対する  $y$  の値を求め、 $x, y$  の値の組  $(x, y)$  を座標とする点を座標平面上にとっていくと、右の図のような曲線が得られる。

これが指数関数

$$y = 2^x$$

のグラフである。





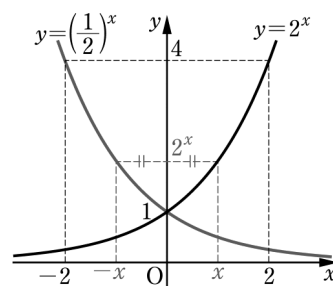
指数関数  $y = 2^x$  のグラフと  $y = \left(\frac{1}{2}\right)^x$  のグラフを比べてみよう。

$x$	...	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	...
$y = 2^x$	...	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{8}$	$\frac{1}{4}$	$\frac{1}{2}$	1	2	4	8	16	...
$y = \left(\frac{1}{2}\right)^x$	...	16	8	4	2	1	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{4}$	$\frac{1}{8}$	$\frac{1}{16}$	...

$$y = 2^x \text{ と } y = \left(\frac{1}{2}\right)^x = 2^{-x}$$

とでは、 $x$  と  $-x$  が入れかわっている。

したがって、 $y = 2^x$  のグラフと  $y = \left(\frac{1}{2}\right)^x$  のグラフは、 $y$  軸に関して対称である。

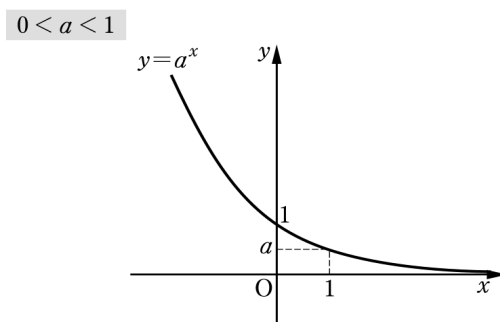
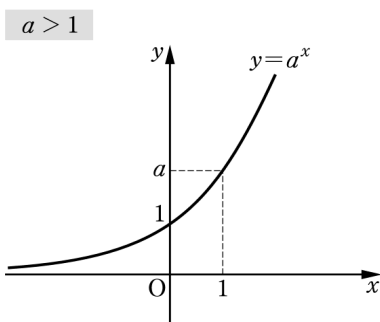


一般に、関数  $y = a^x$  のグラフと関数  $y = \left(\frac{1}{a}\right)^x$  のグラフは、 $y$  軸に関して対称である。

指数関数  $y = a^x$  のグラフは

$a > 1$  のときは、 $y = 2^x$  のグラフと同様に右上がりの曲線、

$0 < a < 1$  のときは、 $y = \left(\frac{1}{2}\right)^x$  のグラフと同様に右下がりの曲線となる。



**問 13** 関数  $y = 3^x$  と関数  $y = \left(\frac{1}{3}\right)^x$  のグラフをかけ。

**指数関数の性質**

指数関数  $y = a^x$  の性質をまとめると、次のようになる。

- [1] 定義域は実数全体、値域は正の実数全体である。  
 [2] グラフは点  $(0, 1)$  と点  $(1, a)$  を通り、 $x$  軸が漸近線になる。  
 [3]  $a > 1$  のとき、 $x$  の値が増加すると  $y$  の値も増加する。  
     すなわち  $p < q \iff a^p < a^q$   
 $0 < a < 1$  のとき、 $x$  の値が増加すると  $y$  の値は減少する。  
     すなわち  $p < q \iff a^p > a^q$

また、 $a > 0, a \neq 1$  のとき、次のことが成り立つ。

$$a^p = a^q \iff p = q$$

**例題 1 大小比較**

2 つの数  $\sqrt{2}, \sqrt[3]{4}$  の大小を比較せよ。

**考え方** 2 つの数を  $2^x$  の形で表し、底が 1 より大きいから、 $x$  が増加すると  $2^x$  も増加することを利用する。

**解**  $\sqrt{2} = 2^{\frac{1}{2}}, \sqrt[3]{4} = \sqrt[3]{2^2} = 2^{\frac{2}{3}}$

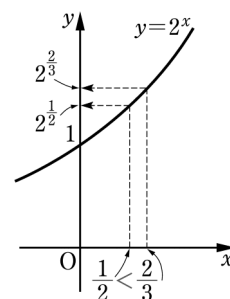
である。ここで

$$\frac{1}{2} < \frac{2}{3}$$

であり、 $y = 2^x$  の底 2 は 1 より大きいから

$$2^{\frac{1}{2}} < 2^{\frac{2}{3}}$$

すなわち  $\sqrt{2} < \sqrt[3]{4}$



**問 14** 次の 2 つの数の大小を比較せよ。

p.162 Training 6, p.176 LevelUp 4

(1)  $\sqrt[3]{9}, \sqrt[4]{27}$

(2)  $\sqrt[3]{\frac{1}{9}}, \sqrt[4]{\frac{1}{27}}$

**指数関数を含む方程式・不等式**

指数関数の性質を用いて、次の方程式、不等式を解いてみよう。

**例題 2 指数関数を含む方程式**

方程式  $8^x = 2^{x+4}$  を解け。

<b>解</b>	$8^x = (2^3)^x = 2^{3x}$ であるから	$2^{3x} = 2^{x+4}$
	ゆえに $3x = x + 4$	—— $a^p = a^q \iff p = q$
	したがって $x = 2$	

**問 15** 次の方程式を解け。

p.162 Training 7

(1)  $9^x = \frac{1}{3}$                       (2)  $\left(\frac{1}{4}\right)^x = \left(\frac{1}{2}\right)^{x-1}$

**例題 3 指数関数を含む不等式**

次の不等式を解け。

(1)  $(\sqrt{3})^x < 9$                       (2)  $\left(\frac{1}{2}\right)^x \geq \frac{1}{16}$

**解** (1)  $(\sqrt{3})^x = \left(3^{\frac{1}{2}}\right)^x = 3^{\frac{x}{2}}$ ,  $9 = 3^2$  であるから

$$3^{\frac{x}{2}} < 3^2$$

$y = 3^x$  の底 3 は 1 より大きいから

$$\frac{x}{2} < 2$$

ゆえに  $x < 4$

(2)  $\frac{1}{16} = \left(\frac{1}{2}\right)^4$  であるから  $\left(\frac{1}{2}\right)^x \geq \left(\frac{1}{2}\right)^4$

$y = \left(\frac{1}{2}\right)^x$  の底  $\frac{1}{2}$  は 1 より小さいから  $x \leq 4$

**問 16** 次の不等式を解け。

p.162 Training 8

(1)  $4^x > 32$                       (2)  $\left(\frac{1}{9}\right)^x \leq \frac{1}{27}$

**Challenge** **例題** 指数関数を含む方程式・不等式

置き換えを用いて、指数関数を含む方程式、不等式を解いてみよう。

**例題**

次の方程式、不等式を解け。

(1)  $9^x - 2 \times 3^x - 3 = 0$                       (2)  $4^{x+1} - 5 \times 2^x + 1 > 0$

---

**解** (1)  $9^x = (3^2)^x = 3^{2x} = (3^x)^2$  であるから

$$(3^x)^2 - 2 \times 3^x - 3 = 0$$

ここで、 $3^x = t$  とおくと、 $t > 0$  であり

$$t^2 - 2t - 3 = 0$$

$$(t + 1)(t - 3) = 0$$

$t > 0$  より       $t = 3$

すなわち       $3^x = 3$

ゆえに       $x = 1$

(2)  $4^{x+1} = 4 \times 4^x = 4 \times (2^2)^x = 4 \times 2^{2x} = 4 \times (2^x)^2$  であるから

$$4 \times (2^x)^2 - 5 \times 2^x + 1 > 0$$

ここで、 $2^x = t$  とおくと、 $t > 0$  であり

$$4t^2 - 5t + 1 > 0$$

$$(4t - 1)(t - 1) > 0$$

$$t < \frac{1}{4}, 1 < t$$

$t > 0$  であるから       $0 < t < \frac{1}{4}, 1 < t$

すなわち       $0 < 2^x < 2^{-2}, 2^0 < 2^x$

$t = 2^x$  の底 2 は 1 より大きいから       $x < -2, 0 < x$

**問 1** 次の方程式、不等式を解け。

(1)  $\left(\frac{1}{9}\right)^x + 2 \times \left(\frac{1}{3}\right)^x - 3 = 0$                       (2)  $4^x - 2^{x+1} - 8 \geq 0$

**Training**

1 次の式を簡単にし、その結果を負の指数を用いずに表せ。 p.151

(1)  $a^2 \times a^{-4}$       (2)  $a^{-5} \div a^{-3} \times \left(\frac{1}{a}\right)^2$       (3)  $(a^2b^{-1})^{-3} \times a^4 \times b^{-2}$

2 次の値を求めよ。 p.153

(1)  $\sqrt[3]{-216}$       (2)  $\sqrt[6]{729}$       (3)  $-\sqrt[4]{625}$

3 次の計算をせよ。 p.154

(1)  $\sqrt[4]{125} \times \sqrt[4]{5}$       (2)  $\sqrt[3]{100^4} \div \sqrt[3]{10^2}$       (3)  $(\sqrt[4]{49})^2$   
 (4)  $\sqrt[3]{125^2}$       (5)  $\sqrt[3]{\sqrt[4]{64}}$

4 次の計算をせよ。 p.156

(1)  $\sqrt[6]{16} \times \sqrt[3]{32^{-1}}$       (2)  $9^{\frac{1}{3}} \div \sqrt[3]{3^5} \times 3^{-\frac{1}{2}}$

5 関数  $y = 3^x$  のグラフと次の関数のグラフは、どのような位置関係にあるか答えよ。 p.158

(1)  $y = -3^x$       (2)  $y = \frac{1}{3^x}$       (3)  $y = 3^x + 1$       (4)  $y = 3^{x-1}$

6 次の各組の数を小さい方から順に並べよ。 p.159

(1)  $\sqrt{3}, \sqrt[5]{9}, \sqrt[7]{27}$       (2)  $\sqrt{\frac{1}{2}}, \sqrt[3]{\frac{1}{4}}, \sqrt[8]{\frac{1}{8}}$

7 次の方程式を解け。 p.160

(1)  $4^x = \frac{1}{8}$       (2)  $\left(\frac{1}{25}\right)^x = \left(\frac{1}{125}\right)^{x-2}$

8 次の不等式を解け。 p.160

(1)  $3^{x-1} > 27$       (2)  $\left(\frac{1}{2}\right)^{x-1} \leq \left(\frac{1}{2\sqrt{2}}\right)^x$